



# ディスレクシア（読み書きの障害）を 理解して支援する

～本来の能力を発揮して生き活きと暮らすために～

「好き」や「得意」をどんどん伸ばす！  
一人ひとりの個性を活かす方法！



- 商品番号：F21-S
- 販売価格：6,000円＋税  
(全2巻・分売不可)

ディスレクシアとは発達障害の中でも一番目立たない、そして対応が遅れているLD(学習障害)の中でも特に読み書きの困難さを示す状態を言います。日本では人口の8%はいると言われていますが、英語学習の困難さについてはまだ調査もありません。

適切な対応や支援がなされれば、十分に本来の力を発揮して社会で活躍することができる人々です。反対に、見過ごされ、または不適切な対応がされると、不登校になったり、鬱になったり、好ましくない行動がみられるようになることもあります。

周りの大人が理解をして、適切な支援や対応ができるようになることが一番の支援です。

このDVDでは、ディスレクシアとは何なのか、本人たちはどのようなことで困っているのか、見え方・感じ方などについて、ちょっとした疑似体験も交えながらお話しします。そして、どのような支援が望ましいのかを解説し、その中で、すぐに使える支援の方法、合理的な配慮の考え方などを紹介しています。

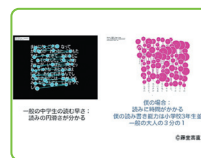
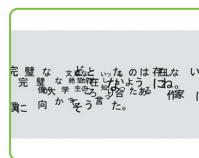
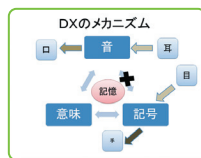
※ 本DVDは、2018年4月に行われたセミナーを収録したものです。

講師：藤堂 栄子（星槎大学特任教授／認定NPO法人エッジ会長）

慶應義塾大学法学部政治学科卒。星槎大学大学院教育研究科修士課程修了。法学士、教育学修士。長男が1999年に留学先の英国でディスレクシアと判断されてNPO法人を設立。以降数々の支援ツールと人材育成モデルを提供。2016年より星槎大学特任教授。

## F21-1 ディスレクシアの理解 (51分)

- はじめに
- ディスレクシアとは？
- ディスレクシアの人の見え方・感じ方
- 本人と周りの人の困りごと



## F21-2 ディスレクシアの支援 (64分)

- 気づき
- ニーズに合わせた支援
- アセスメント
- 基礎的環境整備
- 人的配置
- 合理的配慮の考え方
- 読み書きの困難を軽減するには
- 学び方の工夫
- 自分の得意を知る
- 成功しているディスレクシアの人の共通点

主な特徴 読み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただどしい読み方</li> <li>・不正確な読み方 誕生日⇒タンジ</li> <li>・勝手読み でした⇒だらう</li> <li>・似た音と間違え ラッキー⇒はっぴ</li> <li>・似た形と間違え 借⇒精</li> <li>・順番を間違え あした⇒あし</li> <li>・電話番号を掛け間違え 9667⇒9967</li> </ul>

学び方の特徴
<ul style="list-style-type: none"> <li>・記憶力よく考える力</li> <li>・早く読む内容を理解する</li> <li>・指示通りに学ぶ工夫もものにする</li> <li>・読んで理解するく体験から学ぶ</li> <li>・感心で覚えるく多感覚で覚える</li> <li>・他人からの情報く自分の直感</li> <li>・細かく処理</li> </ul>

成功しているDXの共通点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み書きの困難を克服</li> <li>・読み書きの困難を克服</li> <li>・読み書きの困難を克服</li> <li>・読み書きの困難を克服</li> <li>・読み書きの困難を克服</li> <li>・読み書きの困難を克服</li> <li>・読み書きの困難を克服</li> <li>・読み書きの困難を克服</li> </ul>

困難さを理解し、ニーズに合わせた適切な支援につなげる！

